

会 議 録

1 会議名

令和6年度第5回八千浦区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【自主的な審議】

- ・自主的審議について（公開）

3 開催日時

令和6年12月3日（火）午後6時30分から午後7時50分

4 開催場所

八千浦交流館はまぐみ 多目的室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 大島 進（会長）、羽深栄一（副会長）、伊倉正次、笠原 武、笠原幸博、佐藤巳次、竹田充子、平野和夫、古岡和人、柳澤文雄、渡邊修一、渡邊裕子（欠席者なし）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、石崎係長、丸山主任

8 発言の内容

【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【大島会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：柳澤委員、渡邊修一委員に依頼

【議題】自主的な審議について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

これまで、8月の第3回地域協議会では、自主的審議事項について、主に前4期の方々の協議会の活動を振り返りながら、継続審議となっている自主的審議事項は「保倉川放水路と八千浦区のまちづくりについて」と「海岸線の安全・安心について」という二つであることを皆さんと確認した。

10月に行った第4回協議会では、「地域協議会で話してみたいこと」として、お一人ずつ関心のあることをお話しいただく機会とした。前回欠席された渡邊修一委員から、一言お話いただきたい。

【大島会長】

先回、欠席された渡邊修一委員から、ご意見をいただきたい。

【渡邊修一委員】

前期地域協議会から継続審議となっている「保倉川放水路と八千浦区のまちづくりについて」、「海岸線の安全・安心について」に関心がある。10月2日の会議録を読み、皆さんと大体意見は一緒になるが、生まれも育ちも、八千浦の夷浜に住んでいるので、夷浜のこのみでお話させていただく。

保倉川放水路というのは、夷浜町内会を分断するという事で、町内会としても苦渋の決断で承認したわけだが、夷浜の住民としては、一番関心がある事ではないかと思っている。立ち退きをする家が出てくるが、できたら夷浜町内会に残ってもらいたいし、そのために何かできないか考えている。放水路は千年に一度、夷浜、八千浦有史以来の大事業となるので、放水路を切るだけではなく、それに付帯して、皆さんが集うような場所も作っていただければ、地域の住民としてはありがたい話だと思っている。

海岸線の安全・安心については、夷浜の人は知っていると思うが夷浜地内の一部、海岸線から一本内側に入った道にごみが溜まっているところがある。そこのごみがひどい。クリーン作戦でごみ収集しても、次の日になると見事に置いてある。モラル、マナーを守っていただき、ごみの放置をやめていただきたい。釣り人ばかりではないと思う。私たちが綺麗にしているのに、卑怯な考えの人がいるのではないかと、本当に腹立たしい気持ちでいる。西ヶ窪浜町内会も、多分そういうことに結構力を入れていて、不法投棄がないように活動されているかと思うが、海岸線を重点的に、気持ちよく住んでいられる地域にしていきたいと思っている。

【大島会長】

それでは、事務局に説明の続きを求める。

【丸山主任】

資料No.1 「【八千浦区】地域活性化の方向性を基にした意見の整理表（R6.10.2 意見追加）」に基づき、説明

前回説明したが、地域協議会の活動として、地域の団体との意見交換、視察勉強会、研修会などを実施していくことが挙げられている。

八千浦区地域協議会の場で話し合っていくテーマをこれから決めていくにあたり、視察や意見交換を実施し、委員の皆さんで認識を共有したい事項等はどんなことなのか話し合っていたきたい。

また、地域協議会に地域の声を反映させるために、女性団体や若者、八千浦地区明るい町づくり協議会との意見交換も、今後計画していければと考えている。

【大島会長】

事務局から、地域団体との意見交換、視察勉強会、研修会ということで話が出た。資料No.1の皆さんから挙げていただいた事項を参考にしながら、皆さんから意見をお伺いしたい。趣旨としては、皆さんと一緒に、見て、気付いて、考えて、意見を交換することで、ここでいつも話し合っているよりも、コミュニケーションを取ることが一つのねらいである。是非、ここがいいのではないかという意見をいただきたい。

【竹田委員】

10月2日の地域協議会で、「黒井公園は日陰もなく、とても暑くて子供が遊べない」というお話を聞いたところだが、10月下旬の休日にたまたま黒井公園を通ったらイベント車が2台来ていて、子供がたくさん遊んでいる姿があった。私は「あれっ、こんなイベントあるって、何か話はあったかなあ」と主人と話したが、全然そういう情報を知らされていなかった。

子供たちが遊んでいる様子を見て「活気があっていいな」と感じ、特別なお祭りではなくても、こういうイベントに子供も集まってくるので、八千浦地区として何か改革できないか考えた。このイベントについて知っている人がいれば話を聞かせてほしい。

【大島会長】

佐藤委員、わかる範囲でお願いします。

【佐藤委員】

黒井の神社が1月1日の能登半島地震の被害を受け、例年8月に行っている秋祭りができなかった。子供たちも寂しい思いをしているだろうから何かできないかということ

で、黒井町内会で10月にそのイベントをやったようである。子供たちはすごく喜んだのではないかと思う。

【羽深副会長】

10月27日、日曜日のイベントだったと思うが、私も携わっている。神社は使えないが、今回は黒井公園があるのだからそこでやろうということになり、涼しくなった頃を見計らって実施した。子供たちはかなり喜んで、子供につられて親御さんやお年寄りの方が参加した。話を聞くと、友達を通じてほかの町内会からも子供たちが来たようで、とても喜んでいて。黒井の子供たちには、事前に入場券を配り、それでキッチンカーで買い物ができる、いろいろなゲームができるというようにした。私は運営側だったので、すごく忙しくて大変だったが、あれはあれでよかった。以前から話が出ているが、少し目線を変えた形でイベントをやることによって、自分の町内会外からも人が来てくれるのではないかと感じた。

【笠原武委員】

結局、町内会でやっていることなので、町内会の範囲でしか案内が出ていない。例えば、八千浦地区明るい町づくり協議会を通して、各町内にも案内を配ることも一つのアイデアではないか。

【羽深副会長】

大変貴重なご意見をいただきありがたい。

地区全体でそういうイベントをやるというのは、私もいいことだと思うが、今回は黒井町内会が今まで継続してきた神社の行事を、別の形でというようなことで実施したイベントで、経費や人員は黒井町内会が負担している。黒井町内会だけで他の町内会の人がたくさん参加するようなイベントを運営するというのは、なかなか難しい。八千浦地区では「海まつり」といったものもあるが、もし今後、こういう話を出してご協力いただけるようであれば、八千浦地区の行事としてやっていくのも、一つの活気づくための方策ではないかと思う。

【平野委員】

各町内会で秋祭りはみんなやられていると思う。西ヶ窪浜町内会も、その祭りの中で、子供たちを中心にした催しはやっている。各町内会の神社に関する祭りの延長であれば、過去より各町内会がやっていることなので、他の町内会に宣伝して、来てくれと言う必要はないのではないか。参考までに遊光寺浜や荒浜町内会はどんな形で秋祭りや子ども

向けの催しを実施しているのか話を聞きたい。

【伊倉委員】

遊光寺浜は、春祭りはほとんど催し物をしていない。秋祭りは、ビンゴゲーム、子供会で夜店、それから花火。消防からは、生ビール、焼き鳥。衛生上の問題もあるかと思うがやっている。大人は、昔は盆踊り等もやっていたが、最近は全くやっていない。毎年同じような形で、今後もやらなくてはいけないとは思っている。新しいイベントを町内の方から考えていただければ、やってみたいと思っている。

【笠原武委員】

下荒浜の秋祭りは子供が参加することを前提にして、子供みこしを平日ではなく土曜日に移行して、祭り前に実施した。今年は保倉川太鼓に来ていただいて、約30分演奏していただいた。必ず、どこかのそういう方を招いて、最初にイベントをやる。その後、ビンゴゲームをやる。ビンゴゲームは、事前に各家庭にビンゴカードを配布して、それを持って神社へ集まってくるという形をとっている。そのほかに、役員と組長が、今年は焼きそばと焼き鳥を提供した。

【渡邊修一委員】

夷浜の秋祭りは8月20日と決めている。秋祭りについて、八千浦区全体で連携していくようなことは難しいと思う。

【柳澤委員】

上荒浜は八千浦地区で一番小さな町内会であり、全部で17軒しかない。お祭りは春も秋も一緒に、神社に提灯をぶら下げる程度である。今年、何十年ぶりかに1名が小学校に入学、そのほかに小中学生はいない。だから、話を聞いていて他の町内会がうらやましいと思った。

避難訓練等は、下荒浜や南荒浜町内会から声をかけてもらい、一緒に参加している。

【大島会長】

いろいろな意見が出て、私の知らないイベント等を聞くことができてよかった。

私は、小学生のとき、同じ日に行われている全部の秋祭りを、自転車に乗って友達と走り回った記憶がある。各町内会の判断にはなるが、他の町内会に向けて、こういうことをやっているという情報は出してもいいのではないかと思うし、これから八千浦全体を活性化させるためにも、そういう場を皆で維持していきたいと思う。

以前の地域協議会で渡邊裕子委員から「SNSを使って情報発信すると子育て世代か

らも反応がある」とお話いただいているが、私は是非そのような情報発信の工夫をして、八千浦区の活性化につなげていければと思っている。

【平野委員】

先ほど、上荒浜町内会には子供が1名しかいないという話があったが、その子がかわいそうな感じがする。ほかの町内がやっているようなイベントに参加してもらって、させる、そういう手段はないのか。それも、今後の検討課題にしてはどうかと思う。

【渡邊裕子委員】

お祭りの話が出たのでお話ししたい。小学生は、実態として、自分の町内会ではないところのお祭りに結構行っている。お金や運営の面は大人が考えることで、参加については、子供たちは町内会の線引きなく、自由であってほしいというのが私の願いである。

子供たちは大人の知らないところで、いろいろなところに動いて参加している。先ほどの大島会長の話ではないが、楽しいところには子供が来る。地域間の交流も含め、寛大な気持ちで子供たちを見守っていただけたらということをお伝えしたい。

【大島会長】

皆さんの意見を聞いていると、子供がやはり一番に出てきている。次世代を担うお子さんたちに期待し、地域の大人として何かしてあげたいという、皆さんの気持ちが十分伝わった。

【古岡委員】

今日は視察や意見交換先を話し合っているところだと思う。私は海岸線の件を深掘りしていくのはどうかと考えている。私も小さい頃はよく海に泳ぎに行ったが、大人になると行く機会がない。海岸線から離れた町内会の人、現状どれだけ海岸線に不法投棄があるのかも知らない、視察の機会が必要だと思う。火力発電所や八千浦地区明るい町づくり協議会も何か活動をされているのであれば、話を聞いてみたい。

また、ごみを拾う活動のほか、不法投棄されないような取組をされているのか意見交換をしたい。例えば鳥居の形をした看板を目にしたことがあり、そういった看板の効果を知りたい。

後々は地域協議会だけではなく、小学校・中学校の代表や町内会など小さい規模で視察等をして八千浦の皆さんに現状を知ってもらいながら、看板等の制作までつなげられないか。八千浦学園の取組に海岸線美化の事が加われば小学校から中学校までの子どもが八千浦区の課題解決に関わることができるのではないかと。

【渡邊裕子委員】

八千浦小学校は4年生で海岸清掃や海のことについて学ぶ授業があり、私は、今年、4年生に海岸清掃の授業を行った。子供たちは授業の中で学校から海までごみ拾いをしたり、釣りをしたり、海の事を学んでいる。もしかすると、子供たちの方が海について意識が高いかもしれない。私は、個人的に西ヶ窪浜で海岸清掃イベントを催しているが、そのときは、子供たちが一生懸命取り組んでくれる姿を見ている。明るい町づくり協議会や町内会など、こういう場に出てきている大人の方々は、それなりに海岸清掃について意識があり、現状を知っているが、役員以外の住民の方々にも積極的に参加してもらわないと進歩がないと考えている。私から見ると、どちらかという、大人の方が海岸清掃について意識が低いのではないかと思う。

視察については、直江津の中央5丁目（浜町）町内会が長く海岸清掃の取組をされているようだ。以前、町内会長さんの話が新聞に載っていた。私は視察先の一つに浜町さんがよいと思っていて、住んでいるところも近く、同じ住民の立場での取組なので、きっと何かいい意見交換ができるのではないかと思っている。

【平野委員】

今日は視察先を決めるのではなかったか。審議のテーマを決めているのか。

【大島会長】

今日は意見交換、視察勉強会、研修会のアイディアを皆さんからいただいているところで、たくさんの意見が出ている。自主的審議事項で継続している「保倉川放水路とまちづくり」、「海岸線の安全・安心」のほか、皆さんの貴重な意見を尊重しながら今後の協議会を進めて行きたい。視察等の機会でいろいろな現状を確認し、委員間のコミュニケーションを深めて、審議のテーマを検討していくこととしたい。

【渡邊裕子委員】

私は地域協議会委員として、住民と市をつなぐ役割を果たすため、この場の委員の話合いだけではなく、八千浦地区に住んでいる方々の意見を拾い上げたい思いがある。子育て世代の人たちの意見を聞きたいと思っているが、どのように行えばよいか。例えば、子供会で聞いてきた話をこちらの協議会で共有してよいのか。

【佐藤所長】

地域協議会委員の皆さんの役割の一つに、市民の皆さんの声をこの協議の場にも上げて、それをまた議論するということもある。子供会等でお話を聞いていただいたものを、こ

ちらでご報告いただいて、そこからまた話が発展してくというのは、非常にありがたい話だと思う。

【丸山主任】

また、地域協議会委員と八千浦区内の子育て世代の方々と意見交換会を企画し、委員全員で子育て世代の話を聞く機会を設けることもできる。

【大島会長】

視察をある程度決めたかったが、時間もなくなってきた。

お祭りに関しては、秋祭りに限らず町内会のイベント運営について、今日出た意見を参考に発展させたいと思っている。先ほど古岡委員と渡邊裕子委員から海岸線の話があった。前期から引き継いだ自主的審議事項「海岸線の安全・安心について」にもマッチするので、この件をピックアップしてもよいか。視察として、八千浦地区の海岸線の話がでていますが、皆さんいかがか。

(委員同意)

八千浦地区の海岸線の視察ということで、事務局に準備をお願いする。

過去にこの協議会で、実際に海岸線の状態を視察したことがある。どんなものが落ちているか、釣り人がどれくらいいて、仕掛けがどれくらい落ちているかといったことを、視察した経験がある。

西ヶ窪浜では、町内会長が先頭になって、浜の松林の整備に力を入れてやっている。看板を置いても、何をやってもごみを捨てられてしまうので、それならば、捨てられない環境を作ろうという趣旨で、枯れた松の木を伐採して見晴らしをよくし、きちんと草刈りをして手入れすることで、向こうまで見渡せるようにした。確かに、以前と比べれば、ごみの不法投棄も減ってきているように見える。

【平野委員】

海岸線の視察の件について、できれば春以降、暖かくなってからお願いしたい。4月、5月くらいがいいと思う。今視察に行っても、あまりゴミは落とされていないと思う。暖かくなって人が出てきたときに、みんなごみを捨てていく。

【丸山主任】

視察は海岸線関係ということで調整する。また日程や協議会の進め方は、会長と相談し、日程が決まり次第、皆様に案内を送付する。

【大島会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。